

ロードマップ2017の策定に係る評価の考え方(案)

【基本的考え方】

- ・評価の観点として下記の7項目を設定し、計画推進の上で満たすべき基本的な要件と考えられる①～④、大型プロジェクトの推進に当たっての優先度を明らかにする⑤～⑦の2つに区分し、「◎、○、△」の評価結果に基づき、「a、b、c」の3段階に分類する。
- ・①～④の観点については、計画を推進する上で満たすべき基本的な要件としての観点から評価を行うものである。
- ・⑤～⑦の観点については、本作業部会において、大型プロジェクトの推進に当たっての優先度を明らかにする観点から評価を行うものである。

【評価①】 ①研究者コミュニティの合意、②計画の実施主体、③共同利用体制、
④計画の妥当性

【評価②】 ⑤緊急性、⑥戦略性、⑦社会や国民からの支持

【評価方法】

下記を原則として、その結果の妥当性については、合議で最終的な評価を決定する。

【評価①】

- ・①～④の各観点に対し「◎、○、△」の評価を付し、評価結果の△の割合(%)の合計に基づき、以下のとおり「a、b、c」に分類する。

20%未満：「a」、 20%以上～40%未満：「b」、 40%以上：「c」

- ・上記を原則とするが、評価結果における◎の割合(%)が30%以上の場合は、合議をした上で評価結果を一段階上位(「c」→「b」、 「b」→「a」)にできることとする。(もとの評価が「a」の場合は「a」のままとする)

- ・なお、評価結果における△の割合(%)が、各区分の基準となる割合に近い(±5%以内)場合、分類「a、b、c」が適切なものとなっているか確認する。

【評価②】

- ・⑤～⑦の各観点に対し「◎、○、△」の評価を付し、評価結果の各評点の割合(%)に基づき点数化する。(各評点の割合(%)に対して◎に2点、○に1点、△に0点を乗じた合計により点数化)

- ・⑤～⑦の点数を合計し、点数の高い方から以下の割合で「a、b、c」の3段階に区分。(目安として上位1/4を「a」、中位1/2を「b」、下位1/4を「c」とする。)

- ・なお、各評点の割合(%)に基づき点数化した結果が、各区分の基準となる点数に近い(±10点以内)場合、分類「a、b、c」が適切なものとなっているか確認する。